

2021年12月21日
公益財団法人イオン環境財団

千葉市など産学官13団体が参加する 「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム」を設立 ～産学官連携により子どものアントレプレナーシップ（起業家精神）を育成します～

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役）など産学官13団体は、2021年12月20日に「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム「Seedlings of Chiba」の設立総会・設立セレモニーを、株式会社ZOO本社（千葉市稲毛区）で開催しました。

千葉市では、次世代の産業を担う子どものアントレプレナーシップ（起業家精神）を育む機会を創出するため、「ちばっ子^{あきんど}商人育成スクール」として様々な取り組みを実施しています。

これまでの取り組みをさらに発展させるため、産学官連携のコンソーシアムを設立しました。

1 趣旨

人口構成の変化や技術革新など、社会環境が激しく変化する現代においては、社会の動きに柔軟に対応し、自らの力で仕事を創り出すことができる人材を育成することが、将来的な市の産業発展においても重要となる。

そのため、小・中・高校生向けの教育活動や普及啓発などを、産学官のコンソーシアムで一体的に展開し、地域全体としてアントレプレナーシップ教育に取り組む文化や土壌を作り、将来の産業人材の育成を推進していく。

2 コンソーシアム概要

(1) 団体名

ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba
(通称：Seedlings、シードリングス)



※子どもを苗(seedling)に例え、植物が厳しい環境下で生き抜くように、

子どもたちも力強く成長し、千葉の産業に活気を与えてほしいという願いを込めた団体名

(2) 組織理念

子どもの「稼ぐ力」が育つまち・千葉の実現

(3) 育てたい人材像

社会の変化に柔軟に対応し、自分の力で仕事を創り出すことができる人材

(4) 事業内容

- ・ アントレプレナーシップ教育事業（対象：小・中・高校生等）
教育を目的とした、子ども向けの起業体験イベントや講座、教材開発・普及支援などを行う事業
- ・ 普及啓発事業（対象：大学生、保護者、企業等）
担い手を増やすことを目的とした、コンソーシアムの理念・活動紹介や関連情報提供等の普及啓発事業
- ・ 会員交流事業（対象：コンソーシアム会員）
情報交換による新規事業の創造や既存事業の深化を目的とした、会員同士の交流事業

(5) 構成団体（設立時点） ※五十音順

・ 企業等

公益財団法人イオン環境財団、株式会社オフィスサンマルサン、グローバルスカイ・エデュケーション株式会社、JFE スチール株式会社（東日本製鉄所千葉地区）、株式会社 ZOO、株式会社拓匠開発、株式会社千葉銀行、株式会社ビジネス・ブレイクスルー、株式会社プロシードジャパン

- ・ 大学
敬愛大学、千葉経済大学、千葉大学
- ・ 自治体
千葉市

(6) 本コンソーシアム設立を記念したシンポジウムを以下のとおり開催する予定です。出演者や当日の取材受入等は、決まり次第お知らせします。

- ・ 名称 アントレプレナーシップ教育シンポジウム
- ・ 日時 2022年2月23日(火・祝) ※時間帯は調整中
- ・ 会場 千葉市内の会場を調整中
- ・ 内容 産業界から著名なゲストを招いた基調講演や、実際の起業家等によるパネルディスカッション等を予定。

(7) 公式 web サイト

<https://seedlings.jp/>

3 設立セレモニー開催概要

(1) 日時

2021年12月20日(月) 15:20~16:00

(2) 登壇者

設立時会員代表者13名

No	団体名	職名	氏名	備考
1	千葉市	市長	神谷 俊一	会長
2	千葉大学	学長	中山 俊憲	副会長
3	JFE スチール株式会社 東日本製鉄所	副所長	浅見 健一郎	副会長
4	敬愛大学	学長	中山 幸夫	理事
5	千葉経済大学	学長	佐久間 勝彦	理事
6	株式会社千葉銀行	取締役頭取	米本 努	理事
7	株式会社ビジネス・ブレークスルー	マネージャー	米良 克美	理事(代理)
8	株式会社オフィスサンマルサン	代表取締役	常松 心平	監事
9	株式会社プロシードジャパン	代表取締役社長	吉川 亮	事務局長
10	グローバルスカイ・エデュケーション株式会社	取締役	須川 健太郎	
11	株式会社ZOZO	ディレクター	梅澤 孝之	
12	株式会社拓匠開発	代表取締役	工藤 英之	
13	公益財団法人イオン環境財団	専務理事兼事務局長	山本 百合子	

(3) 設立記念セレモニーの当日様子



神谷市長 開会挨拶



イオン環境財団専務理事山本 挨拶



記念フォトセッション

以上

参考

【公益財団法人イオン環境財団について】

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており、現在は「イオンの森づくり」「助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動に取り組んでいます。 <ホームページ <http://www.aeon.info/ef/>>

■イオンの森づくり

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採等で荒廃した森の再生を目的に、日本はもとよりアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの31年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は1,223万本を越えました。

(2021年2月末現在)

<千葉市における森づくり・千葉大学との取り組み>

2016年～2018年 千葉市植樹

2016年に、千葉市富田都市農業交流センターで、第1回「千葉市植樹」を実施しました。地域ボランティアの皆さまやイオン チアーズクラブの子どもたちを含め、1,200名のボランティアの皆さまとクヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹8,000本を植えました。第2回は2017年に第3回は2018年に泉自然公園(千葉市若葉区)で、野鳥の森の再生を目指し、植樹を実施しました。2年間で1,600名のボランティアの皆さまと合計17,000本を植えました。

千葉大学 Future Earth シンポジウム

2018年2月15日(木)に行われた千葉大学 Future Earth シンポジウムに当財団から出席し、文系・理系を超えた広い分野の研究所が集まり、活発な意見交換が行われました。今後の若い世代の活躍が記載される会となりました。